

Windowsを  
使っている皆さんに  
知っておいて  
欲しいこと。

 Windows 10

# Windows は変わり続けます。 あなたとあなたのビジネスの 未来のために。

今では私たちの生活に欠かすことのできないスマートフォンやタブレット、クラウドサービスなど、新しいテクノロジーやデバイスが次々と現れる一方で、企業を狙うセキュリティの脅威もますます巧妙化しています。ビジネスを取り巻く環境も大きく変化し、人々の働き方に対する意識や価値観も多様化してきました。そんな変わり続ける時代の中で、あなたとあなたのビジネスのためにWindows にできること。それは、PC やタブレットをさらに使いやすく進化させ、より快適で、効率的な業務を実現することです。“ビジネスにいちばん近いソフト”として、あなたとあなたのビジネスを支え続けていくために。その先に広がるより良い未来を目指して、Windows はこれからも変わり続けます。



## Windows が変わり続ける 3 つの理由

日々の業務を支える OS (オペレーティング システム) として、Windows は、もっと快適に。もっと安全に。もっと使いやすく。その先のビジネスとテクノロジーを見据えて変わり続けています。

**理由1** もっと快適に。

P4 へ ➡

**理由2** もっと安全に。

P6 へ ➡

**理由3** もっと使いやすく。

P8 へ ➡





# もっと快適に。



## { いつでもどこでも仕事ができる環境 }

PC だけでなく、タブレットやスマートフォンも使いたい。社内はもちろん、社外や自宅でも作業がしたい。モバイルやクラウドなど、テクノロジーが進化し続ける中、企業に求められるのは、こうした社員の声に応え、いつでもどこでも快適に仕事ができる環境を実現すること。そのために Windows も進化し続ける必要があるのです。

## いま何が求められているのか…

### PC から新たなテクノロジーの時代へ



スマートフォンやタブレットは私たちの生活の中に瞬く間に浸透し、いまやビジネスの世界でも当たり前のように使われるようになりました。またインターネットを介して利用するクラウド サービスを導入する企業も年々増えています。PC だけで業務を行っていた時代から、モバイルやクラウドといった新たなテクノロジーを活用する時代へ。ビジネスと IT の関係はいま、大きな転換期を迎えています。

### より自由で多様性のある働き方を



少子高齢化時代を迎え、子育てをしながら、あるいは親の介護をしながら働きたいと願う社員が増えています。また営業職を中心に、社外でもPC を使って仕事がしたいというより自由な働き方を求める声が多くなりました。いま必要なのは、多様化する雇用や勤務形態に対応し、新たな働き方を支援すること。モバイルなどを活用し、社内と変わらずに働ける環境づくりが求められています。



## そこで Windows10 にできること

### どんな端末でも使いやすさは変わらない



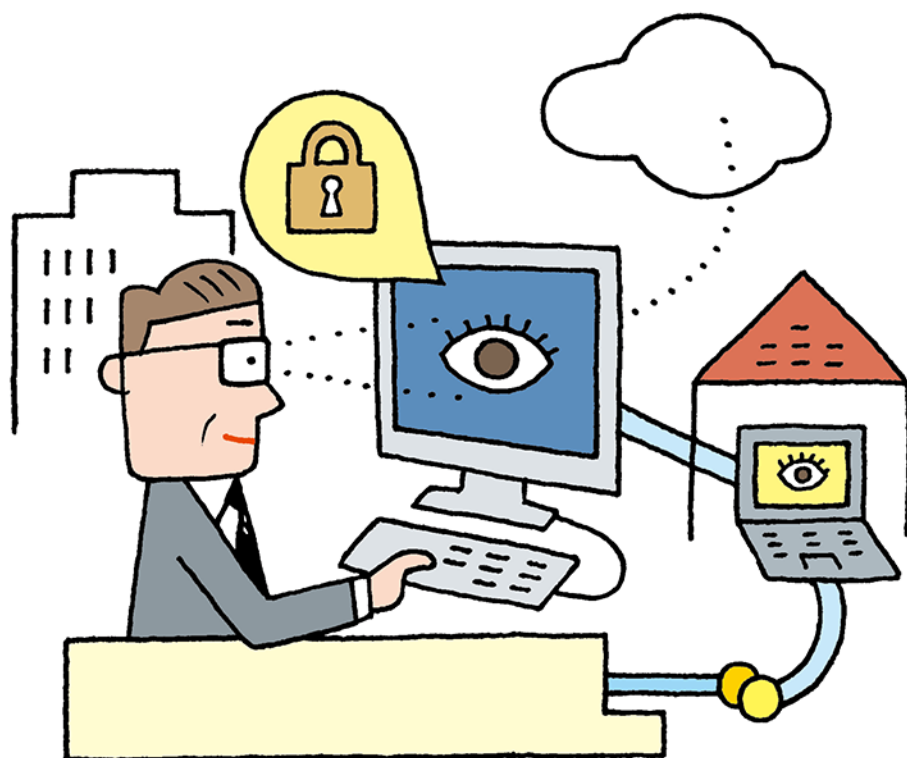
使い慣れた環境がいちばん使いやすいから、Windows 10 ではデバイスごとに異なるOS を提供するのではなく、PC にもタブレットにもスマートフォンにもすべて同じOS を提供しています。これが「One Windows」という新しいコンセプトです。どんな端末でも常に同じ操作性で利用できるから、デバイスの違いを気にすることなく、いつでもどこでもスムーズに作業の続きを行うことができます。

### 変化に合わせて、進化する Windows



時間や場所を選ばない自由な働き方を可能にするモバイルやクラウドサービスのように、私たちのビジネスをより快適なものに変えるテクノロジーが次々と生まれています。そこで Windows 10 では最新 OS を短い間隔で、しかも無償で提供するリリース方式「ラピッドリリース」を採用。新たに OS を購入する必要がなく、テクノロジーの進化や時代の変化にもいち早く対応することができます。

# もっと安全に。



## { 強固なセキュリティと高い利便性 }

次々と現れる新たな脅威、頻発する情報漏えい…。モバイルの普及により社内から社外へと活用シーンが広がる中で、多くの方が心配されるのがセキュリティの問題です。しかし大切なのは、最新の脅威に対応した上で、さらに利便性の高い環境を実現すること。Windows が目指すのは、そんな強固なセキュリティと高い利便性の両立です。



## いま何が求められているのか…

### 高度化するセキュリティの脅威



メールなどで感染するスパイウェアやウイルス、外部からの悪意のある攻撃など、さまざまな脅威が存在しており、以前にも増して高度化、巧妙化しています。情報漏えいの被害も後を絶たず、ビジネスに深刻なダメージを与えるケースも少なくありません。こうした脅威から企業を守るためには、万全のセキュリティ対策を講じ、次々と現れる新たな脅威に対処する必要があります。

### 利便性がセキュリティの犠牲に



セキュリティ対策は非常に重要です。特にモバイルやクラウドサービスは社外でも利用されるため、より強固なセキュリティが要求されます。しかし、セキュリティを強化したために、使い勝手が悪くなり、業務の流れを妨げてしまっただけでは意味がありません。大切なのは、セキュリティと利便性を両立すること。利用者がセキュリティを意識せずに、安全かつスムーズに利用できる環境が求められます。



## そこで Windows10 にできること

### 最新の脅威にもすばやく対応



セキュリティ更新を自動的に配布する「Windows Update」により、最新の脅威にもすばやく対応。さらにWindows 10 では、許可のないアプリケーションの動作を防ぐ「Device Guard」や、個人所有の端末の内部を企業と個人領域に分け、企業領域のデータだけを暗号化する「Enterprise Data Protection」など、モバイル時代に不可欠なセキュリティ機能が強化されています。

### さっと使えて、しかも安全



ID パスワードの入力が煩わしいと思ったことはありませんか。Windows 10 の「Windows Hello」なら、顔などの生体情報で瞬時に個人認証が行えます。さらに「Microsoft Passport」では、Windows Hello と連動してアプリや Web サイトの認証まで行うことができます。万が一、盗難に遭っても情報漏えいの心配がなく、デバイスを安心して社外に持ち出すことができます。

# もっと使いやすく。

---



## { 使いやすさを第一に考えた製品づくり }

毎日の業務で使われるものだからPC やタブレットはもっと使いやすくなければならない。Windows はそう考えます。そのために大切なのは、実際に使うユーザーの声に耳を傾けること。業務をさらに快適にする新たな機能や技術を生み出すこと。Windows のエンジニアは、ユーザーの使いやすさを第一に考えた製品づくりを行っています。



## いま何が求められているのか…

### 使いやすさを求めるユーザーの声



PC やタブレットなどのデバイスは、いまや業務を行う上で欠かせない重要なツールです。普段使っている身近なツールだからこそ、その基本システムである Windows には誰でも簡単に扱うことができる使いやすさが求められます。マウスやキーボードに加え、タッチ操作も行えるデバイスが主流となった現在、使いやすさを求めるユーザーの声はより一層大きくなっています。

### ビジネスにさらなる価値と生産性を



毎日の業務をさらに快適なものにするために、デバイスはもっと便利に、使いやすく、進化していく必要があります。たとえば、初めてデバイスに触れた人でも直感的な操作でスムーズに作業が始められる機能や、どこからでも安全に情報共有やコミュニケーションが行える技術など、進化した機能や技術があなたのビジネスにさらなる価値と生産性をもたらすはずです。



## そこで Windows10 にできること

### ユーザーの声を Windows に反映



Windows には、「Windows Insider Program」というユーザーの声を製品に反映する仕組みがあります。世界で 500 万人のユーザーが登録しており、不具合につながるバグの報告をはじめ、操作性や機能に関する要望などを Windows のエンジニアに直接フィードバックしています。Windows はこうした多くの声をもとに、真に使いやすい製品を目指して常に改善し続けています。

### 業務に役立つ革新的な機能を実現



Windows 10 では、Web ページに直接文字を書き込み、そのままメンバーと共有できる Web ブラウザー「Microsoft Edge」や、ユーザーの興味を学習し、必要な情報を瞬時に検索して表示する音声認識アシスタント機能「Cortana (コルタナ)」など、日々の業務に役立つ新機能を提供。「こんな機能が欲しかった」とユーザーが心から思える革新的な機能をこれからも実現していきます。

# 毎日の業務をさらに便利に。スムーズに。

## Windows 10で実現！3つの注目トピックス

1

“顔”や“眼”で、簡単 & スピーディにログオン！

### Windows Hello、Microsoft Passport

Windows 10 は、パスワードよりも簡単 & スピーディに認証が行える生体認証を実現しています※。「Windows Hello」は、従来の指紋認証に加え、顔認証と虹彩認証に対応しており、“顔”や“眼”をデバイスのカメラに映すだけでログオンを実現。さらに「Microsoft Passport」と組み合わせれば、アプリケーションや Web サイトのログオンに活用できます。

※対応のデバイスが必要です。



2

### Web ページに直接文字が書き込める Web ブラウザー Microsoft Edge

Web ページに直接、指示を書き込んでメンバーと共有する。そんな業務の効率化にも役立つ最新機能を備えた Web ブラウザーが、Windows 10 の「Microsoft Edge」です。Web ページにペンやマウスを使って手書きで入力したり、ハイライト機能を使って重要な部分を強調したり、さらにそのページを保存し、すばやく共有することができます。



3

### ミーティングの質を高める大型デバイスが登場！ Microsoft Surface Hub

「Surface Hub」は、Windows 10 の会議室向け大型デバイスです。100 点マルチタッチに対応しており、同時に 3 つのペンで書き込めるほか、画面をタップするだけで Skype for Business の会議に参加でき、メモやコンテンツの共有も容易に行えます。84 インチ 4K と 55 インチ HD があり、より質の高いミーティングや共同作業を可能にします。



## Windows 10 の無償アップグレードについて

Windows 10 は、Windows 8.1/7 および Windows Phone 8.1 のユーザーに対し、リリース後 1 年間は無償アップグレードとして提供されます。従来のリリース方式とは異なり、一度アップグレードした機器は「その端末が寿命を迎えるまで」無料でサポートされます。

### [ 2 つの企業向けモデル ]

Windows 10 は、企業の環境や要望などに合わせて、アップデートを行う周期を選ぶことができます。企業向けのアップデートには、以下の 2 つのモデルがあります。

#### 企業向け最新モデル(CBB)

CBB は、コンシューマー向けモデルがリリースされた 4 か月後に、検証作業の済んだ安定版として提供。「最新技術を適時導入しつつ、安定運用を行う」ことを目指した企業向けモデルです。

#### 固定モデル(LTSB)

LTSB は、金融/医療機関などを想定したモデルで、アップグレードの間隔が長いのが特徴です。機能拡張などは行わず、固定された環境で長期間利用し続けたい法人ニーズに応えます。

#### 企業向け最新モデル (CBB)



- ビジネスユーザー向け
- 常に最新の機能を提供
- 企業向けのアップデートコントロール  
(Windows Update for Business)

#### 固定モデル (LTSB)



- 金融/医療機関などの基幹システム向け
- 機能アップデートは無し
- セキュリティ更新とバグフィックスのみ提供
- 最長 10 年間サポート
- SA (ソフトウェア アシュアランス) 特典

詳しくはこちら ▶ ビジネス向けFAQ ページ [http://wincom.blob.core.windows.net/documents/Win10FAQ\\_FINAL\\_ja-jp.PDF](http://wincom.blob.core.windows.net/documents/Win10FAQ_FINAL_ja-jp.PDF)

# Windows ショートカット キー集

ショートカット キーとは、キーボードを使ってパソコンの操作を簡単に行うための機能です。  
ショートカット キーを使用すると、キーボードから手を離してマウスに持ち替える必要がないので、  
文書の編集を行っている場合などに効率よく作業を行うことができます。

## Windows 基本ショートカット キー

| キー操作                                                 | 目的                                           | キー操作                                               | 目的                                         |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| <b>Ctrl</b> + <b>C</b> または <b>Ctrl</b> + <b>Ins</b>  | 選択したアイテムのコピー                                 | <b>Alt</b> + <b>F4</b>                             | アクティブなアイテム、アプリの終了                          |
| <b>Ctrl</b> + <b>X</b>                               | 選択したアイテムの切り取り                                | <b>Alt</b> + <b>←</b>                              | 前に戻る                                       |
| <b>Ctrl</b> + <b>V</b> または <b>Shift</b> + <b>Ins</b> | 選択したアイテムの貼り付け                                | <b>Alt</b> + <b>→</b>                              | 次に進む                                       |
| <b>Ctrl</b> + <b>A</b>                               | ドキュメント内、ウィンドウ内の全アイテムの選択                      | <b>Ctrl</b> + <b>PgUp</b>                          | 1 画面上へ移動                                   |
| <b>Ctrl</b> + <b>Z</b>                               | 操作を元に戻す                                      | <b>Ctrl</b> + <b>PgDn</b>                          | 1 画面下へ移動                                   |
| <b>Ctrl</b> + <b>D</b> または <b>Del</b>                | 選択したアイテムの削除、ごみ箱へ移動                           | <b>Windows</b>                                     | スタート メニューの起動／終了                            |
| <b>Ctrl</b> + <b>R</b> または <b>F5</b>                 | 作業中のウィンドウを最新の情報に更新                           | <b>Windows</b> + <b>M</b>                          | ウィンドウの最小化                                  |
| <b>Ctrl</b> + <b>F4</b>                              | 作業中のドキュメントの終了(複数ドキュメントを同時に開くことができる全画面表示のアプリ) | <b>Windows</b> + <b>↑</b>                          | ウィンドウの最大化                                  |
| <b>Alt</b> + <b>Tab</b>                              | 開いているアプリの切り替え                                | <b>Windows</b> + <b>↓</b>                          | 現在のアプリを画面から削除／ウィンドウの最小化                    |
| <b>F2</b>                                            | 選択したアイテムの名前の変更                               | <b>Windows</b> + <b>←</b>                          | 画面の左側にアプリを移動／ウィンドウの最大化                     |
| <b>F3</b>                                            | エクスプローラーでのファイル、フォルダーの検索                      | <b>Windows</b> + <b>→</b>                          | 画面の右側にアプリを移動／ウィンドウの最大化                     |
| <b>F4</b>                                            | エクスプローラーでのアドレス バー一覧の表示                       | <b>Windows</b> + <b>Shift</b> + <b>↑</b>           | ウィンドウを画面の上下に拡大                             |
| <b>F5</b>                                            | 作業中のウィンドウを最新の情報に更新                           | <b>Windows</b> + <b>Shift</b> + <b>↓</b>           | 作業中のウィンドウを、幅を維持しながら、縦方向に元のサイズに戻す／ウィンドウの最小化 |
| <b>F6</b>                                            | ウィンドウ内、デスクトップ上の画面要素の切り替え                     | <b>Windows</b> + <b>Shift</b> + <b>左右どちらかの方向キー</b> | デスクトップ上のアプリ、ウィンドウを別のモニター ディスプレイに移動         |
| <b>F10</b>                                           | アクティブなアプリのメニュー バーの起動                         | <b>Windows</b> + <b>L</b>                          | PC のロック／アカウントの切り替え                         |
| <b>Shift</b> + 任意の方向キー                               | ウィンドウ内、デスクトップ上の複数アイテム、ドキュメント内のテキストの選択        | <b>Windows</b> + <b>D</b>                          | デスクトップの表示／非表示                              |
| <b>Shift</b> + <b>Del</b>                            | 選択したアイテムをごみ箱に移動せずに削除                         | <b>Esc</b>                                         | 現在の作業の停止／終了                                |

## Windows 10 新規追加ショートカット キー

| キー操作                        | 目的                   | キー操作                                     | 目的                   |
|-----------------------------|----------------------|------------------------------------------|----------------------|
| <b>Windows</b> + <b>A</b>   | アクション センターを開く        | <b>Windows</b> + <b>Ctrl</b> + <b>D</b>  | 仮想デスクトップの追加          |
| <b>Windows</b> + <b>S</b>   | 検索を開く                | <b>Windows</b> + <b>Ctrl</b> + <b>→</b>  | 右側に作成した仮想デスクトップと切り替え |
| <b>Windows</b> + <b>C</b>   | Cortana を聞き取りモードで開く* | <b>Windows</b> + <b>Ctrl</b> + <b>←</b>  | 左側に作成した仮想デスクトップと切り替え |
| <b>Windows</b> + <b>Tab</b> | タスク ビューを開く           | <b>Windows</b> + <b>Ctrl</b> + <b>F4</b> | 使用中の仮想デスクトップを閉じる     |

※ Cortana は、特定の国または地域でのみご利用いただけます。国や地域によっては、Cortana の一部の機能を利用できない場合があります。  
Cortana を利用できない場合、または Cortana がオフになっている場合でも、検索機能は使うことができます。



お客様満足度向上への取り組みについて

<http://www.microsoft.com/ja-jp/CPE/default.aspx>

Windows 10 情報はこちら

[http://aka.ms/ms\\_win10](http://aka.ms/ms_win10)

製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

インターネットホームページ <http://www.microsoft.com/ja-jp/>

カスタマー インフォメーション センター 0120-41-6755 (受付時間 9:00-17:30 ※土日祝、弊社指定休業日を除く)

© 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved.

※ Microsoft、Microsoft ロゴは、米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標または商標です。

※ その他、記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載の内容は 2017 年 3 月現在のものです。内容については予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。



日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー

<http://www.microsoft.com/ja-jp/>